

絶縁油中PCB混入状況

1991年以降製造のものにも油の注ぎ足し等が原因と思われるPCB混入事例があるため、PCB混入の可能性がある場合には、早期の分析をお勧めします。
経済産業省では、油入機器(トランス、コンデンサー等)PCB混入の可能性があるものについては、停電時等の調査を推奨しています。

製造年	～1953			1954～1972			1973～1990			1991～1999			2000～		
国内 の 状況	PCB国内生産なし			PCB製造			PCB国内生産なし			メーカーによってPCB検査後に販売					
	再生油製造			再生油製造						再生油製造なし					
	注ぎ足し等なければ混入の可能性低い			PCB製造混入可能性あり						注ぎ足し等なければ混入の可能性低い					
濃度 (mg/kg)	0.1未満	0.1以上 0.5以下	0.5超	0.1未満	0.1以上 0.5以下	0.5超	0.1未満	0.1以上 0.5以下	0.5超	0.1未満	0.1以上 0.5以下	0.5超	0.1未満	0.1以上 0.5以下	0.5超
検体数	36	15	47	3513	1680	5273	17393	3759	5390	2958	67	21	4416	5	1

原則PCB混入がないとされている1991～1999年製造のものであっても2.9%程度でPCBが検出されています。(当社分析結果:2005年12月～2009年11月測定分44,574検体より)

- 製造段階において、原則PCB混入がない絶縁油とされているもの
→PCB国内生産がされていない1953年以前、及び再生油が生産停止された1991年以降製造のもの
- PCB混入の可能性がある絶縁油とされているもの
→PCBが製造されていた1954～1972年に製造されたもの
→PCBが混入した絶縁油・再生油と設備共有されていた、1954～1990年に製造された再生油
→1990年以前に製造されたものを注ぎ足し等で使用したもの

詳細は担当：山田、戸邊（内線:276、295）までご連絡下さい。 TEL. 0120-01-2590（フリーダイヤル）

